



2022年1月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年12月10日

上場会社名 クロスプラス株式会社
 コード番号 3320 URL <https://www.crossplus.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 大寛

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 西垣 正孝

TEL 052-532-2211

四半期報告書提出予定日 2021年12月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第3四半期の連結業績(2021年2月1日～2021年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第3四半期	44,794	1.8	191	89.6	412	81.2	154	90.8
2021年1月期第3四半期	45,619	4.1	1,843	161.2	2,187	156.5	1,687	84.4

(注) 包括利益 2022年1月期第3四半期 10百万円 (%) 2021年1月期第3四半期 1,815百万円 (95.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第3四半期	21.06	20.93
2021年1月期第3四半期	230.17	229.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第3四半期	32,430	14,621	45.0
2021年1月期	32,419	14,857	45.8

(参考) 自己資本 2022年1月期第3四半期 14,590百万円 2021年1月期 14,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期		6.00		18.00	24.00
2022年1月期		15.00			
2022年1月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	6.3	600	72.1	800	68.4	700	65.0	95.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年1月期3Q	7,718,800 株	2021年1月期	7,718,800 株
期末自己株式数	2022年1月期3Q	385,601 株	2021年1月期	385,601 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年1月期3Q	7,333,199 株	2021年1月期3Q	7,333,204 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年2月1日～2021年10月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が発令され、9月中旬以降には、対象地域における感染者数減少を受けて順次解除されたものの、第6波の懸念から、依然として先行きの極めて不透明な状況が続いております。

当アパレル業界でも、巣ごもり需要などは好調に推移しましたが、首都圏、近畿圏を中心とした都市部において外出自粛の継続で影響を受け、全体として低迷が続いております。

このような環境の中、当社グループは、基幹事業であるアパレル卸売を強化し、衣料品販売の回復と非衣料品販売の拡大を進めてまいりました。衣料品においては、新しいライフスタイルに合わせた商品開発を進めるとともに、企画や生産管理にデジタルを活用し、アパレル卸売の創る力を強化しました。非衣料品では、ファッションマスク等の販路拡大や、新規商品開発を進めました。

売上高は、アパレル卸売では、専門店や無店舗チャネルへの衣料品販売が回復したものの、ファッションマスク等の非衣料品販売が前年から減少しました。また、海外生産国での新型コロナウイルス感染症拡大によるロックダウンの影響で、工場の振替や海上輸送の遅れが発生し、商品の納期遅延の影響も受け減収となりました。アパレル小売では、ECにおいて外部モールへの販売が拡大し、店舗では前年の緊急事態宣言による外出自粛の影響を大きく受けた水準からは回復しました。

利益面では、非衣料品売上高の減少と、上記の生産国や工場の振替による仕入コストの増加に加え、原材料の高騰や海上運賃の値上げなどの影響を受け、売上総利益率が1.8ポイント低下したことにより、差引売上総利益は99億77百万円（前年同期比9.4%減）となりました。経費面では、広告宣伝費などの販売費及び物流費が増加したこと等により、販売費及び一般管理費は97億86百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、447億94百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は、1億91百万円（前年同期比89.6%減）、経常利益は、4億12百万円（前年同期比81.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1億54百万円（前年同期比90.8%減）となりました。

なお、当社グループは、衣料品事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

事業部門別の売上高は、以下のとおりです。

区 分	金額（百万円）	前年同期比（%）
アパレル卸売	39,015	△3.7
アパレル小売	5,569	+10.9
そ の 他	208	—
合 計	44,794	△1.8

販売チャネル別の売上高は、以下のとおりです。

区 分	金額（百万円）	前年同期比（%）
専 門 店	22,109	+13.6
量 販 店	15,368	△13.6
無 店 舗	3,922	+17.7
百 貨 店 他	1,527	+8.1
E C	1,495	+20.8
そ の 他	372	—
合 計	44,794	△1.8

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は324億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円の増加となりました。

流動資産は233億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億99百万円の増加となりました。流動資産の増加の主な要因は、電子記録債権が7億26百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が6億78百万円増加し、その他流動資産が4億9百万円増加したこと等によります。

固定資産は90億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億85百万円の減少となりました。固定資産の減少の主な要因は、投資有価証券が3億60百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は178億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億46百万円の増加となりました。

流動負債は139億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億19百万円の減少となりました。流動負債の減少の主な要因は、短期借入金が9億円増加し、支払手形及び買掛金が6億84百万円増加したものの、電子記録債務が17億3百万円減少し、未払法人税等が6億22百万円減少したこと等によります。

固定負債は38億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億66百万円の増加となりました。固定負債の増加の主な要因は、長期借入金が9億47百万円増加したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は146億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億36百万円の減少となりました。純資産の減少の主な要因は、その他有価証券評価差額金が2億21百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月期通期の連結業績予想につきましては、2021年9月3日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,527	3,537
受取手形及び売掛金	11,316	11,995
電子記録債権	2,831	2,105
商品	4,672	4,716
貯蔵品	16	15
その他	631	1,040
貸倒引当金	△63	△78
流動資産合計	22,933	23,332
固定資産		
有形固定資産	4,155	4,066
無形固定資産	248	292
投資その他の資産		
投資有価証券	4,590	4,230
その他	482	502
投資その他の資産合計	5,073	4,732
固定資産合計	9,477	9,091
繰延資産		
開業費	8	5
繰延資産合計	8	5
資産合計	32,419	32,430
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,438	4,123
電子記録債務	3,869	2,165
短期借入金	4,000	4,900
1年内返済予定の長期借入金	660	973
未払法人税等	639	16
賞与引当金	96	224
返品調整引当金	52	43
その他	2,041	1,532
流動負債合計	14,798	13,979
固定負債		
長期借入金	1,507	2,455
退職給付に係る負債	881	882
その他	374	491
固定負債合計	2,763	3,829
負債合計	17,562	17,808

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,944	1,944
資本剰余金	2,007	2,007
利益剰余金	9,667	9,588
自己株式	△511	△511
株主資本合計	13,107	13,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,652	1,430
繰延ヘッジ損益	29	59
為替換算調整勘定	15	38
退職給付に係る調整累計額	30	32
その他の包括利益累計額合計	1,727	1,562
新株予約権	22	30
純資産合計	14,857	14,621
負債純資産合計	32,419	32,430

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
売上高	45,619	44,794
売上原価	34,607	34,826
売上総利益	11,012	9,968
返品調整引当金戻入額	38	52
返品調整引当金繰入額	40	43
差引売上総利益	11,010	9,977
販売費及び一般管理費	9,166	9,786
営業利益	1,843	191
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	62	74
受取家賃	115	125
雇用調整助成金	204	37
その他	18	41
営業外収益合計	403	280
営業外費用		
支払利息	16	20
貸貸収入原価	34	34
その他	8	4
営業外費用合計	59	58
経常利益	2,187	412
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
投資有価証券評価損	9	17
減損損失	232	—
新型コロナウイルス感染症による損失	53	—
その他	0	—
特別損失合計	294	17
税金等調整前四半期純利益	1,893	394
法人税、住民税及び事業税	474	26
法人税等調整額	△268	214
法人税等合計	205	240
四半期純利益	1,687	154
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,687	154

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
四半期純利益	1,687	154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156	△221
繰延ヘッジ損益	△34	30
為替換算調整勘定	△1	23
退職給付に係る調整額	8	1
その他の包括利益合計	128	△165
四半期包括利益	1,815	△10
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,815	△10
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載しました新型コロナウイルスの感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。